

**養日本労働組合総連合会岩手県連合会** (連合岩手) 発行人鈴木 圭

〒020-0022 岩手県盛岡市大通1丁目1番16号 TEL(019)625-5505 FAX(019)623-1105 印刷 川口印刷工業㈱

# 連合しわて

# 連合岩手「第38回定期大会」開催

# 安心社会へ 果敢にアクション!

~広げよう「理解・共感・参加」の輪~



連合岩手は、10月22日(水)サンセール盛岡において第38回定期大会を開催しました。

大会議長団に電力総連・千葉駿介代議員、運輸労連・山本寛之代 議員を選出した後、執行部を代表して伊藤裕一会長があいさつ、続 いて、連合・芳野友子会長、岩手県・達増拓也知事、盛岡市・熊谷 修二商工労働部次長、労福協・金田一文紀副会長、国民民主党岩手 県総支部連合会・千葉伸行代表代行、退職者連合・佐藤淳一会長か らご挨拶をいただきました。

報告・議事では、2025年度の活動報告に続いて第1号議案 2025春季生活闘争のまとめ(案)、第2号議案第27回参議院議員選挙のまとめ(案)、第3号議案 2026~2027年度運動方針(案)、第4号議案連合岩手規約の一部改正(案)など、3つの報告事項および12の議案が提案され、すべての議案等が満場一致で承認・可決されました。また、第11号議案では、組合員増加の実績とともに日頃の組織拡大の取り組みから2つの労働組合を結成し、その後も継続した組織活動の支援を行っている等の功績から、今大会において、初めて組織拡大推進表彰が提案・承認され、UAゼンセン岩手県支部が表彰されました。

退任役員の表彰・挨拶の後、大会宣言が採択され、最後に伊藤会 長による力強い団結ガンバロウで大会を閉じました。



連合・芳野友子会長



組織拡大推進表彰 UA ゼンセン岩手県支部 藤下政宏さん



## 第38回 定期大会 会長あいさつ

会長 伊藤 裕一

第38回定期大会に結集された各構成組織・大会構成員の皆さま、大変ご苦労様です。会長の伊藤です。連合岩手執行委員会を代表しご挨拶申し上げます。

本日の定期大会には、大変お忙しい中、ご来賓として、連合本部・芳野会長、達増岩手県知事、盛岡市長代理・商工労働部・ 熊谷次長、岩手県労福協・金田一副会長ほか、労働福祉団体 の皆様、各政党、退職者連合の皆様にご出席いただきました。

まずは冒頭、今年2月に発生した大船渡の大規模な林野火災について、改めて、被害に遭われた皆様へお見舞いを申し上げます。この火災による延焼範囲は、約3,370haと広範囲で、家屋等の被害も、住家・非住家あわせて226棟と、この被害の規模が大きかったことを受けて、激甚災害指定もなされたところです。また、この火災では、組合員にも被害が及んだこともあり、連合岩手では支援カンパも取り組んだところです。集めましたカンパから、各構成組織を通じ見舞金を交付させていただいたほか、大船渡市に寄付をさせていただきました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、連合岩手が一昨年に定期大会を開催し、私も会長に就任しましてから2年が経過いたしました。こうして本日、定期大会を迎えられましたことに感謝申し上げます。私からは、本日の議案にも関わりますが、年次大会からの1年を振り返りつつ、最近の情勢も踏まえながら今後の課題などにも触れ、ご挨拶とさせていただきます。

はじめに1点目は、政治についてです。まずは、7月に実施された参議院通常選挙、大変お疲れ様でした。この1年、政局を左右する重要な選挙が行われてきました。昨年は衆議院解散総選挙、岩手では参議院補欠選挙とのダブル選挙がありました。詳細までは触れませんが、岩手における3選挙区では2勝1敗、相手候補には比例での復活も許しませんでした。参議院補欠選挙でも勝利し、これらの選挙で、与党の衆議院での過半数割れを実現することができました。実に2009年以来の成果ということです。そして今年は、先ほど申し上げた参議院選挙がありました。都議会議員選挙での自民党大敗後というタイミングでしたが、この選挙では、選挙区での勝利と、比例では連合組織内で一部残念な結果もあり、連合が目標としていた組織内全員の当選はかないませんでした。ただし、衆議院に続き、参議院における与党過半数割れを実現することができました。これまで選挙にご奮闘いただいた皆さんに感謝申し上げます。

その後は、報道にもあったとおり、自民党・高市新総裁の就任、公明党の政権離脱、立憲民主党を中心とした野党連立の調整など、時間単位の目まぐるしい情勢変化の結果として、自民党と日本維新の会との連立合意がなされ、高市総裁が新首相に指名されるとともに、高市内閣が発足しました。つい昨日の出来事です。しかし、やっと秋の臨時国会もはじまりましたので、今後は、立憲民主党、国民民主党の奮闘に期待しながら、今後の国会にも注目していきたいと思います。

次に2点目は、2025春季生活闘争についてです。昨年の2024春闘においても、大幅な賃金引き上げを実現してきたところですが、今年の2025春闘で連合は、これまでの「賃金も物価も上

がらない」という社会的規範・ノルムから、「賃金も物価も上がる」 というノルムに変える、新たなステージを定着させていくことをめざし、 取り組んでまいりました。連合本部の最終集計で、全体では2年 連続となる5%超えを果たし、全体、そして300人未満の中小組 合でも昨年を上回ったほか、岩手においては、率で本部集計を上 回るなど、記録の残る2000年以降、最高の水準を更新すること ができました。皆様のご奮闘に、感謝申し上げます。こういった状 況を背景に、選挙の影響で遅れていた最低賃金中央審議会でし たが、岩手の属する C ランクで 64 円の目安が示され審議が行わ れました。全国では、その多くで目安額を上回る改定で結審して おりましたが、岩手においても、過去最高となる79円を引き上げ、 1,031 円となりました。これにより、C ランクでも上位まで押し上げた ことになります。一方で、実施時期が12月1日、全国で一番遅 い秋田で来年3月31日と、本来10月頃に改定されるべきところ、 大幅な金額引き上げに配慮する形で、実施時期が遅れるといった 課題も出てきています。いずれ、好調だった春闘結果を受けて、 名目賃金は伸びているものの、今月発表された、物価を加味した 8月の実質賃金はマイナスと、今年に入って実に、8ヶ月連続での マイナスとなりました。このような状況ですから、なおさら、来年以 降の継続した賃金引き上げが必要になってきます。中央では2026 春闘がスタートしますので、今後の取り組みを強化してまいりましょう。

3点目は、組織拡大についてです。連合岩手では、一昨年からオルガナイザーを配置し、組織の拡大に取り組んでまいりました。この取り組みは、私たちの組織を拡大することにとどまらず、集団的労使関係の理解を広げること、さらには、私たちの運動を、社会の隅々まで広げていくことにも繋がる重要な取り組みであり、連合本部においても、最重要課題に位置付けています。この1年間、労働組合結成に至ったケースも含めて、連合岩手全体では、組合員数が276人増加しました。今後も引き続き、東北ブロックオルガナイザーや各地域協議会とも連携し、企業訪問などを精力的に行いながら、組織をあげて、取り組みを強化してまいりますので、ぜひ、各構成組織のご協力をお願いいたします。なお、本日は議案として、この間の組織拡大への貢献をもって、組織拡大推進表彰を予定しておりますことを申し添えておきます。

最後に4点目は、男女平等参画・ジェンダー平等の推進につい てです。連合本部による男女平等推進計画は、昨年10月からフ ェーズ2に移行しています。連合岩手としては、これまでの取り組 みによって、劇的な前進とはいかないものの、緩やかに、個別目標 を達成してきたところであり、これをさらに加速させていくため「フェ ーズ2達成のためのロードマップ」を確認しました。このジェンダー 平等の課題は、日本における社会的な立ち遅れ、これをいかに変 えていくのか。まずは、私たち労働組合自らが、しっかりこれに立 ち向かっていこうというものです。皆様も、少なからず感じておられ るとは思いますが、自らの組織に関わることであったとしても、簡単 にクリアできてしまうような生易しいものではありません。この課題は、 連合岩手や地域協議会での取り組みにとどまらず、各構成組織、 各単組に至るまで同様に取り組んでこそ、全体が前進できる課題 だと考えています。先ごろ、ホームページ上でトップリーダーメッセー ジも発信させていただいたところですが、確認された「ロードマップ」 に従い、フェーズ2達成にむけ、連合岩手、地域協議会、各構 成組織、各単組一丸となって取り組んでまいりましょう。

最後に、本日の定期大会、皆様の真摯な討論によって、向こう 2年間の方針を確立いただきますことをお願い申し上げ、執行委 員会を代表しての挨拶といたします。本日はよろしくお願いいたしま す。

## 2026~2027年度 連合岩手役員体制

役職名	氏	名	構成組織	
会 長	伊 藤	裕 一	自 治 労	再
副会長	佐々木	正	J A M	再
	佐 藤	茂 生	電力総連	再
	豊嶋	昌 勝	自動車総連	再
	山田	清 秋	UAゼンセン	再
	佐 藤	工	岩 教 組	再
	村 上	智加子	高 教 組	再
	熊 谷	孝	情 報 労 連	再
	佐々木	拓 人	フード連合	再
	三 角	克 太	J P 労 組	新
	大 坪	勝利	私鉄複合産別労連	新
事務局長	鈴 木	圭	電力総連	再
副事務局長	佐々木	正人	UAゼンセン	再
	今 野	善文	自 治 労	再

役職名	凡	· •	名			構成約	組織		
執行委員	岩	判	竜	太	自	治	•	労	新
	本 1	宮	信	也	電	機	連	合	再
	照	井	有	文	運	輸	労	連	新
	浅	召	宏	優	J	R	総	連	再
	佐	藤		翔	基	幹	労	連	再
	藤	尚 :	裕	司	J	ЕС	連	合	新
	熊	谷		憲	玉	公	連	合	新
	奈 .	良		章	海	員	組	合	新
	松	$\mathbb{H}$	素	子	女	性 委	員	会	再
	須	搸		開	青	年 委	員	会	再
会計監査	菊 :	地	貴	博	全	玉	ガ	ス	再
	佐々	木	貴	子	労	金	労	組	新
	畠口	Ц	直	樹	全	水	-	道	新

## 退任された役員

第38回定期大会の役員改選で9名の方々が退任されました。これまでの連合活動へのご尽力に感謝いたします。

役職名	氏 名	構成組織	在 任 期 間
副会長	山 岸 伸 行	運輸労連	2013年10月~2025年10月 (執行委員2013年10月~2019年10月)
	熊 谷 洋 一	J P 労 組	2022年10月~2025年10月
副事務局長	藤本誠	情 報 労 連	2024年2月~2025年8月
執行委員	日 蔭 丈 朗	自 治 労	2023年10月~2025年10月
	古 坐 和 幸	JEC連合	2022年10月~2025年10月
	大 坪 誠	国 公 連 合	2017年2月~2025年10月
	工藤和男	交 通 労 連	2010年10月~2025年2月
会計監査	佐々木 崇 人	労 金 労 組	2024年 3月~2025年10月
	小笠原 昌 大	全 水 道	2024年 3月~2025年10月





# 2025平和行動

世界で唯一、原子爆弾が投下され、今なお多くの被爆者が後遺症に苦しむ広島と長崎。第二次世界大戦での地上戦を経て、日本返還後も米軍基地が多く置かれ、過度な負担を強いられる沖縄。領土を奪われ、多くの住民が故郷を追われた北方四島。これらの地域においては、戦後80年となる今でも真の平和、安定した社会は実現していません。

連合岩手は、毎年6~9月に行う「平和4行動」(沖縄、長崎、広島、根室)をはじめ、労働組合やさまざまな団体・機関と連携・協力し合い、平和運動に取り組んでいます。

### 平和行動 in 長崎

#### 8月7日(木)~10日(日)参加者10名

8月7~10日の四日間、平和行動 in 長崎に 10 名が参加しました。8日「2025 平和ナガサキ集会」では、被爆者より当時の様子と平和への訴え、講演として「国際社会と核兵器の現状」を聞き、「核兵器廃絶」「世界の恒久平和の実現」を参加者全員が共有致しました。9日の「ピースウォーク」で爆心地公園・平和公園において、跡地等を見学しながら当時の様子をガイドされ、原爆資料館にて、原爆の悲惨さを目の当たりにし、平和への願いを新たに感じ取りました。



## 平和行動 in 根室

### 9月5日(金)~8日(月)参加者5名

この4日間は北海道の大きさをとても感じさせてくれる平和行動となりました。初日は「北方四島学習会」が行われ、北方領土で生まれ育った方々から当時の様子を語っていただき、そして次の日は日本最東端で行われる「2025 平和ノサップ集会」に参加し、改めて北方四島の早期返還を参加者全員が願う集会でした。

連合の平和運動に継続して参加し、「平和の尊さ」を伝え広げていく活動が大切と感じました。



